

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	409.7		412.81		413.81	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米	17.0264		18.7		18.9	
麦	0					
大豆	12.0641		12.5		13	
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば	19.4287		24		24.1	
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.7224		1.25		1.5	
・野菜	0.7224		1.25		1.5	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化	0.9369		0.1484		0.5	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	目標値
1	アスパラガス 加工用トマト（いずれも基幹）	高収益作物への助成	取組面積 (a)	（6年度）72a	（7年度）125a （8年度）150a
2	そば 加工用米（いずれも基幹）	戦略作物の生産性向上 の取組	取組面積（そば） (a) 取組面積（加工用米） (a)	（6年度）1,942a （6年度）1,702a	（7年度）2,405a （8年度）2,410a （7年度）1,870a （8年度）1,890a
3	そば（基幹）	そばの取組（地域の取組 に応じた配分）	取組面積（そば） (a)	（6年度）1,942a	（7年度）2,405a （8年度）2,410a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:飯綱町地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	高収益作物への助成	1	15,000	アスパラガス・加工用トマト(いずれも基幹)	助成対象水田において、企業等との出荷契約のもと作付した対象作物の面積(又は全作業受託により対象作物を作付した面積)に応じ、助成単価に基づき助成する。
2	戦略作物の生産性向上の取組	1	15,000	そば・加工用米(いずれも基幹)	そば:助成対象水田において、そばを出荷・販売契約に基づき作付し、生産性向上等の取組①耕うん同時畝立て播種、②耕起・施肥・播種同時作業技術、③高度施肥管理(土壌診断に基づく施肥管理等)のうち一技術以上を実施した面積(又は作業受託により対象作物を作付した面積)に応じ、助成単価に基づき助成する。 加工用米:助成対象水田において、加工用米を出荷・販売契約に基づき作付した面積に応じ、助成単価に基づき助成する。また、生産性向上等の取組として、以下のいずれかの1つ以上の取組みを実施することを要件とする。①多収穫品種の導入、②直播栽培・疎植栽培(栽植密度1坪あたり50株以下)、③側条施肥技術の導入
3	そばの取組(地域の取組に応じた配分)	1	20,000	そば(基幹)	経営所得安定対策等実施要綱別紙13の3の(2)の地域の取組に応じた配分額の算定手順のうち、そば・なたねの生産に取組む者を対象に、農協等との出荷契約又は実需者等との販売契約を締結していることを条件に助成する。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。